

社団法人千曲会

平成22年度 事業報告

平成22年度は、信州大学繊維学部創立100周年記念事業の実施に向けての計画・準備と共に通常の事業に下記のように取組んだ。

(1) 信州大学繊維学部創立100周年記念事業の推進

100周年記念事業は、平成20年3月募金活動に入り、本年度は各記念事業の実施計画の検討のため常務実行委員会2回、担当部会6回、担当者打合せ6回などが開催され、会員の皆様にもご参加いただいて実施計画の検討を進め、平成22年10月22日に前夜祭を繊維学部講堂で開催するとともに次の各事業の実施に協力した。

- ① 記念講演会、記念式典、祝賀会 平成22年10月23日(土)に上田文化センター、上田東急インを会場に開催。
- ② 100周年記念誌は編集が終了し、10月初旬に発刊した。
本誌は、編集を記念事業実行委員会編集委員会、発行は(社)千曲会が担当した。(社)千曲会では千曲会報1月発行から9月発行まで3回にわたり掲載して頒布希望者を募った。頒布は10月下旬から行っている。
- ③ 講堂修復では、外壁の補修と塗り替え、内部壁、漆喰等の汚れ、破損箇所の修復、緞帳・カーテンの張替えなどを中心に整備等を行った。
- ④ 平成20年3月からお願いしたこの事業への千曲会会員の寄附納入者は、平成22年9月末現在1,827名に達し、多大なご協力に対し心から感謝申し上げます。

(2) 通常の事業の活動状況は次のとおりです。

地域活動事業 5支会総会に延べ7名の理事及び学部の先生方が出席し、講演並びに本部や大学の状況を報告した。

産学官連携支援関係では、繊維学部創立100周年記念事業については、前述のとおり具体的な計画立案を進めている。(財)上田繊維科学振興会が運営するARECプラザの団体会員として参画しており、現在、平成23年度中の新法人移行申請を目指して作業を進めている。

会員表彰では、永年地域活動で活躍された、小林喜胤、内田慎治両氏を第70回定期総会において表彰した。

繊維科学情報提供事業 千曲会報 No.294(10月)7200部、No.295(1月)11000部、No.296(6月)7300部、記念事業案内号としてNo.297(9月発行)11000部を発行。ホームページはリニューアルにて6月4日に更新した。皆様方に長い間ご不便をお掛けしたことをお詫び申し上げます。今後は随時記事を更新出来る限り新しい情報を提供するように致します。

繊維研究教育推進事業 (社)千曲会主催の学術講演会は、講師：大前保夫氏、演題「カーペットに対する要求機能と技術について」を総会に併せて開催した。繊維学部で行われたシンポジウム、ときめきサイエンス、学会などを共催及び支援した。

技術研究者育成として、学生の顕著なサークル活動を支援、就職活動のための講演会を開催するとともに卒業記念品を贈呈した。

また、繊維学部留学生支援の会に対し団体会員として参画し支援した。新留学生に来日初日の宿泊の便宜を図っている。

技術研究支援事業 繊維学部に協力して国内外の研究者研修・会議や会員並びに学生の会議・研修などに研修室ならびに宿泊施設を提供した。研修施設である千曲会館老朽化による浸水防止のため、煉瓦壁の防水工事を行った。